

第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

未来の全日本チャンピオン戦 中学生少年部 蹴武型 実施

2013年7月26日

日本テコンドー協会

宗師範 河 明生

我が蹴武の型は、日本跆拳道の魂である。

世界の武道で唯一、蹴り技の体系美を誇る蹴りの武道＝蹴武のシンボルといえる。

日本テコンドー協会（以下、JTA）の加盟クラブには、優秀な蹴武の才能が育ち始めている。

「未来の蹴武の型全日本チャンピオン」に成長するであろう中学生部の逸材である。

その中には、全日本大会予選会における一部蹴武の型や二部蹴武の型において

青年部の選手に勝利し、優勝するという天才的才能が輝いている。

才能は、好敵手と競い、もまれてこそ開花するものである。

JTAは、「未来の蹴武の型・全日本チャンピオン」を育てるため、

中学生部の選ばれし蹴士達が、格闘技の殿堂・後樂園ホールで輝ける機会を提供すべきである。

第24回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会において中学生蹴武の型（男女混合）を実施する。

ただし、本種目の実施は固定化しない。優秀な選手が存在する限りにおいて実施する。

有段者（含昇段審査継続中）で選抜された蹴美の中学生部蹴士は下記の通りである。

なお、選抜されたからといって必ずしも出場する義務はなく、不参加によって生じる不利益は皆無である。本人が出場する意思が固く、保護者も許可する限りにおいて本種目は成立する。

ただし、下記選抜者が1名でも出場しなかった場合、小学生蹴武の型の部と統合し、昨年同様、少年少女部蹴武型（男女混合）として実施する。

ランキング	選抜者名	段位	所属	(指導者)	学年
第1位	野原颯太	初段	長崎佐世保テコンドークラブ	(廣川禎教)	中学2年生
第2位	行谷駿輔	初段	湘南平塚テコンドークラブ	(尾崎圭司)	中学1年生
第3位	井藤大貴	初段	福岡イオン筑紫野テコンドークラブ	(守田典男)	中学1年生

以上3名